

Ⅱ. イーソリューションズの紹介

1. 自己紹介
2. 「事業プロデュース」の3軸
3. コンサル VS 事業プロデュース

1. 自己紹介 佐々木 経世/Sasaki Keishin(1/2)

■学歴

1989年 6月	MIT Sloan School of Management/Master of Science in Management 修了
1984年 3月	慶應義塾大学大学院 計測工学 修士課程 修了
1982年 3月	慶應義塾大学 工学部 卒業

■職歴

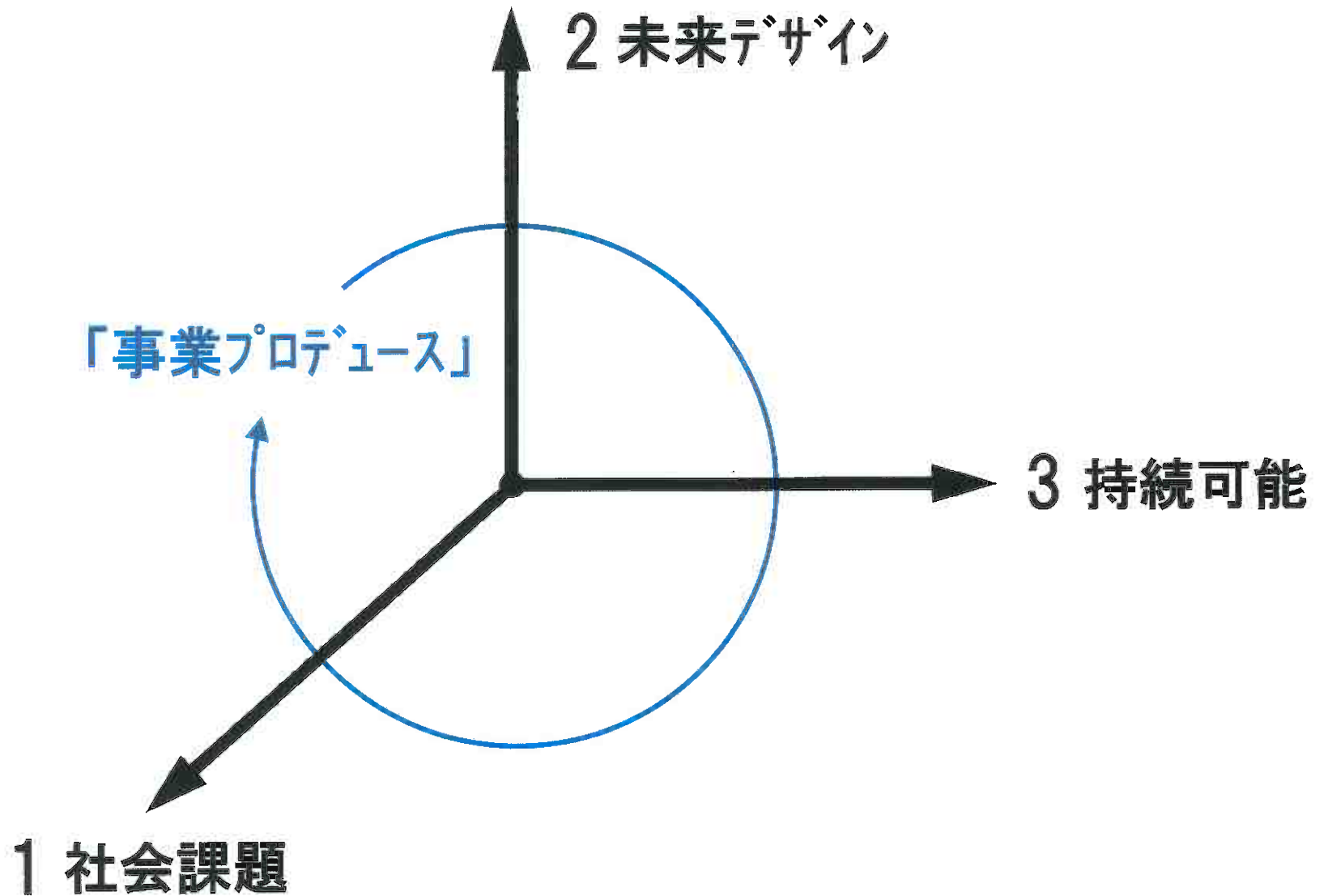
1999年 1月 ~ 現在	イーソリューションズ(株)	代表取締役社長
2012年11月 ~ 現在	桜プロジェクト(株)	発起人
2004年12月 ~ 現在	NCメディカルリサーチ(株)	代表取締役社長
2013年 8月 ~ 2018年 6月	Space Time Insight, Inc.	Advisory Board Member
2011年 4月 ~ 2012年 2月	東日本大震災復興構想会議専門委員会	委員
2009年 9月 ~ 2013年 6月	スマートシティ企画(株)	代表取締役社長
2009年 7月 ~ 2016年 9月	フューチャーデザインセンター	FDCセンター長
1992年 1月 ~ 1999年 1月	ソフトバンク(株)	事業企画室長(社長室兼務)
1989年 6月 ~ 1991年12月	ブーズ・アレン・アンド・ハミルトン(株) (現:Strategy &.)	
1984年 4月 ~ 1986年 9月	日本鋼管(株) (現:JFEスチール(株))	

1. 自己紹介 佐々木 経世/Sasaki Keishin(2/2)

■兼任

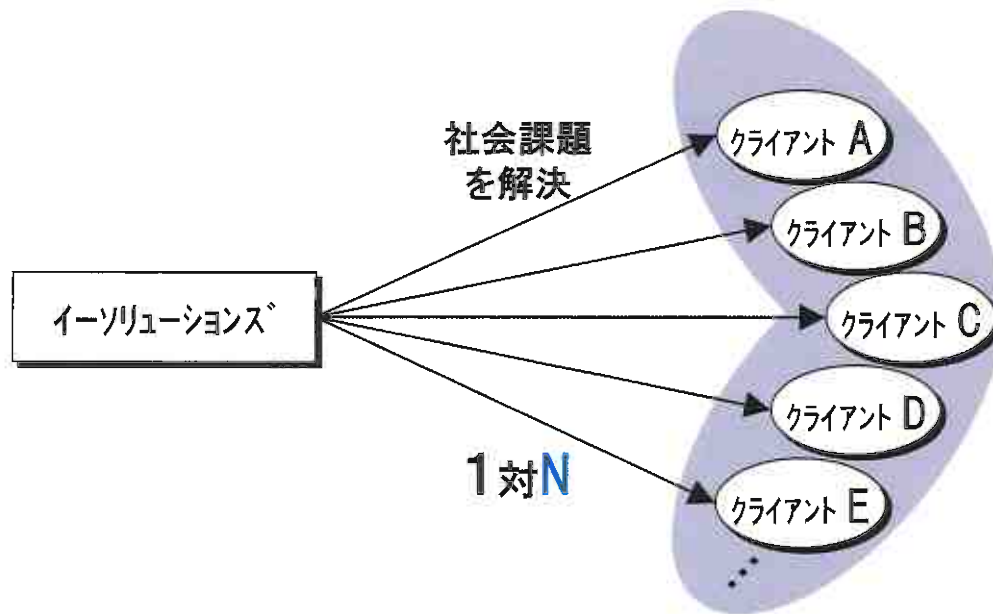
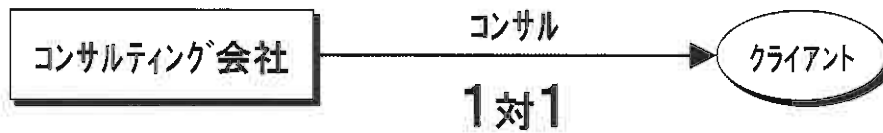
2019年 7月 ~ 現在	MIT Institute for Medical Eng. and Science	Visiting Scientist
2018年12月 ~ 現在	MIT Sloan Sustainability Initiative	Advisory Board Member
2018年 8月 ~ 現在	慶應義塾大学工学部・理工学研究科 諮問委員会	委員
2017年 6月 ~ 現在	The Metropolitan Opera	International Council member
2017年 6月 ~ 現在	日本フィルハーモニー交響楽団	評議員
2016年 2月 ~ 現在	慶應義塾大学 医学部	客員教授
2001年 7月 ~ 現在	特定非営利活動法人アイ・エス・エル	主幹事
2013年 4月 ~ 2017年3月	慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科	特別招聘教授
2014年 6月 ~ 2016年6月	(社)イマジカ・ロボット・ホールディングス	社外取締役
2002年 7月 ~ 2014年3月	特定非営利活動法人ジャパン・リターン・プログラム	監事
2009年11月 ~ 2013年3月	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科	特任教授
1999年10月 ~ 2012年3月	慶應義塾大学医学部月が瀬リハビリテーションセンター	非常勤講師

2. 「事業プロデュース」の3軸



3. コンサル vs 事業プロデュース

コンサル vs 「事業プロデュース」



「事業プロデュース」とは

事業プロデュース : 「事業シナリオ」「プロジェクトマネジメント」
作曲家/指揮者 : 「作曲」「指揮」



Ⅲ. 「事業プロデュース」の事例紹介

1. チーム・マイナス6%  みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6% www.team-6.jp
2. スマートシティプロジェクト
3. 「新型インフルエンザ対策」の立案(厚労省)

1. チーム・マイナス6%



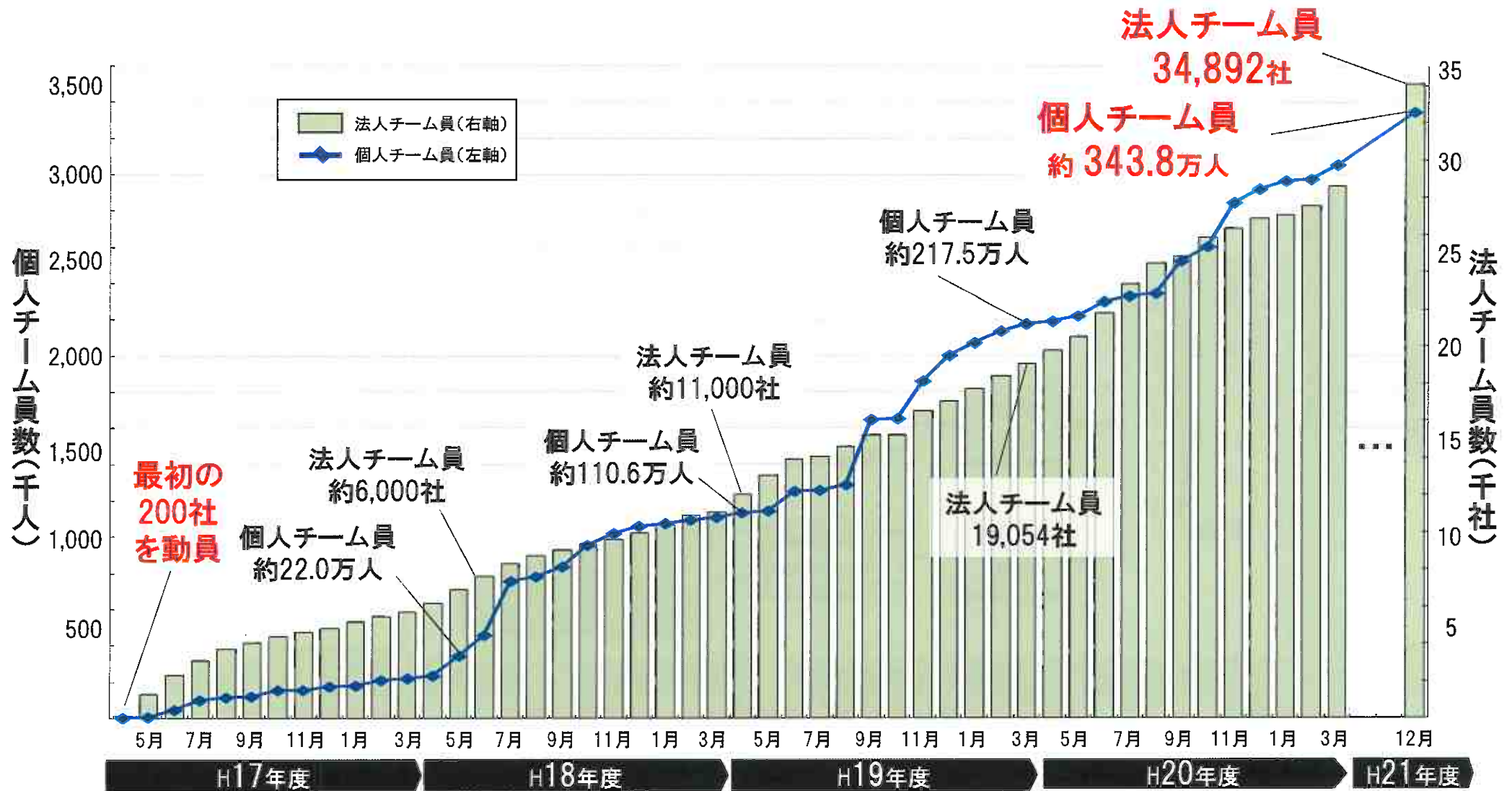
みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6% www.team-6.jp

1.1. 国と協力したCO₂削減「国民運動」

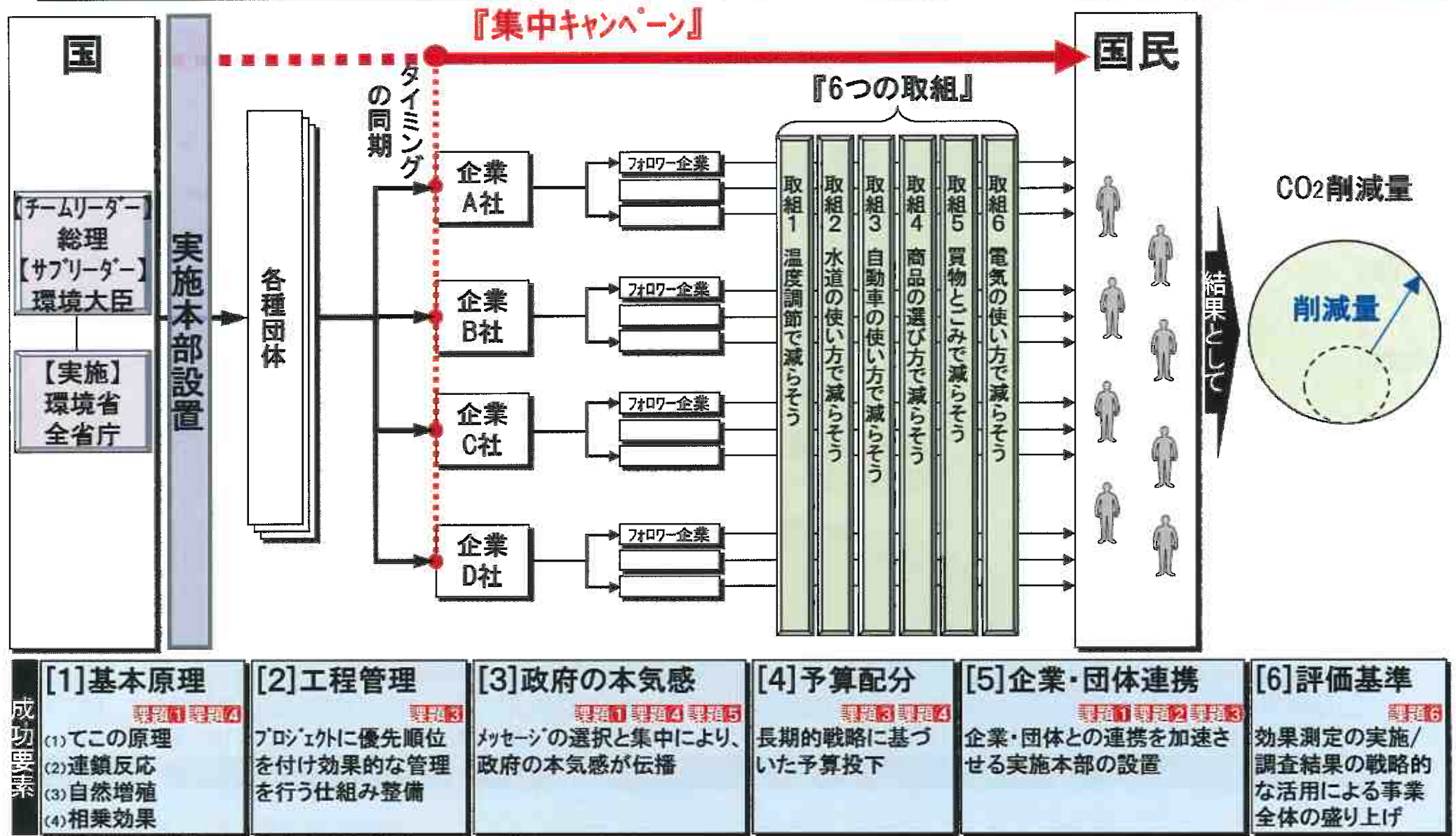


1.2. 35,000社以上の法人参加(2009年)/国民認知度は95%以上



※H21年度12月分チーム員数は12月8日時点のデータ

1.3. 国/業界トップ企業を動かすメカニズムデザイン



2. スマートシティプロジェクト

2.1. 「フューチャー・デザイン・センター」の基本理念



提唱者 小宮山 宏
(東京大学前総長)

「日本の課題は世界の課題」

■「課題先進国」日本

日本は「課題先進国」で、世界に先んじて多くの課題に直面する。
(環境・資源問題、食糧問題、医療問題、教育問題など)

■高い課題解決能力

しかし、日本には高い問題意識と優れた技術力があり、
課題解決能力が高い。
例)公害問題の経験

■「先進モデル」を世界へ発信

そこで、日本の知力・技術力を生かし、世界中からも優れた
知・技術を結集して、世界へ「先進モデル」を発信していくことが
必要である。

2.2. 「フューチャー・デザイン・センター」



2.3. 「フューチャー・デザイン・センター」のコアメンバー

■提唱者（最高顧問）



小宮山 宏

- ・第28代東京大学総長(2005～2009)
- ・三菱総合研究所理事長、
東京大学総長顧問などを兼任

■共同センター長（理事）



佐々木 経世

- ・イーソリューションズ(株) 社長
- ・NCメディカルリサーチ(株)代表取締役などを兼任



山田 興一

- ・東京大学総長室顧問

■監事



北畑 隆生

- ・経済産業事務次官(2006～2008)
- ・神戸製鋼社外取締役、
丸紅社外監査役などを兼任

■代表理事



河合 淳也

- ・柏の葉キャンパスシティプロジェクト推進部長

2.4. スマートシティのパッケージ輸出を目的に大企業27社を集結



2.5. 街の魅力のパッケージ化:5つの層の定義

スマートシティの5つの層

第5層 生活スタイル・文化・芸術

高QOLと豊かな社会の両立に向け、新たな生活スタイルや文化・芸術の普及を図ります。

WARM BIZ COOL BIZ コミュニティ活動の発信 伝統文化の保存 イベントホール

第4層 生活サービス

「スマートインフラ」(スマートインフラ)を基盤とすることで、都市の生活サービスに新しいQOL(Quality of Life) (生活の質)の向上を実現し、新たな生活サービスを提供していることができます。

デマンドレスポンス 高齢者見守りサービス オンデマンド交通 生活者への応じた調度品提供 スマートサービス

第3層 スマートインフラ

都市機能を安定的に「スマートインフラ」に連携させたセンシング機能を加えることで、従来のインフラより高度な柔軟性・拡張性を発揮することができる。最新のシステムがプラットフォーム上で容易に連携することで、効率的なサービス提供が可能です。

スマートホーム スマートビル 高度交通情報システム 次世代データセンター ビッグデータ解析

スマートバス スマートビル 高度交通情報システム 次世代ガソリンスタンド LRT

第2層 基礎インフラ

近代都市の基礎インフラ(道路、上下水道、エネルギー、通信など)を、その先のニーズ・解決策を踏まえて効率的に提供します。

電力計画 ガス計画 排水処理 高度ネットワーク 高速鉄道

第1層 不動産開発

最新のニーズを踏まえた都市開発、および都市開発の中心となる「マスタープラン」の策定、およびその後の土地利用計画など、開発プロセス全体の効率化を図ります。

マスタープラン策定、都市計画、交通情報の活用

分野

- 国民啓発
- コミュニティ活動
- 政府/企業広報
- ⋮
- デマンドレスポンスサービス
- オンデマンド交通サービス
- 高齢者見守りサービス
- ⋮
- スマートエネルギーネットワーク
- 交通情報プラットフォーム
- スマートビルビル
- EVインフラシステム
- ⋮
- 電力
- ガス
- 電話
- インターネット
- ⋮
- 道路
- 鉄道
- 港湾
- 空港
- ⋮
- 上下水道
- 病院
- 学校
- 住宅
- ⋮
- 基礎調査
- 需要予測
- コンセプト
- ⋮
- マスタープラン
- 事業計画
- 土地収用

3. 「新型インフルエンザ対策」の立案(厚労省)

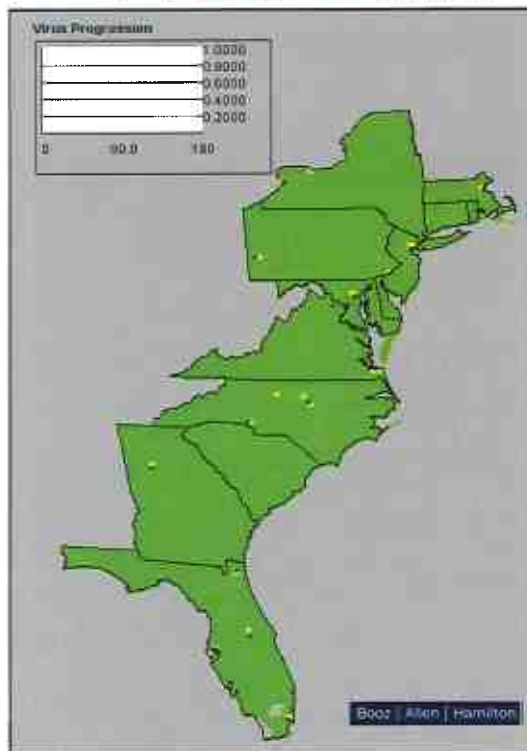
3.1. アメリカ東海岸のH5N1パンデミックシミュレーション：前提条件

■ シミュレーション条件

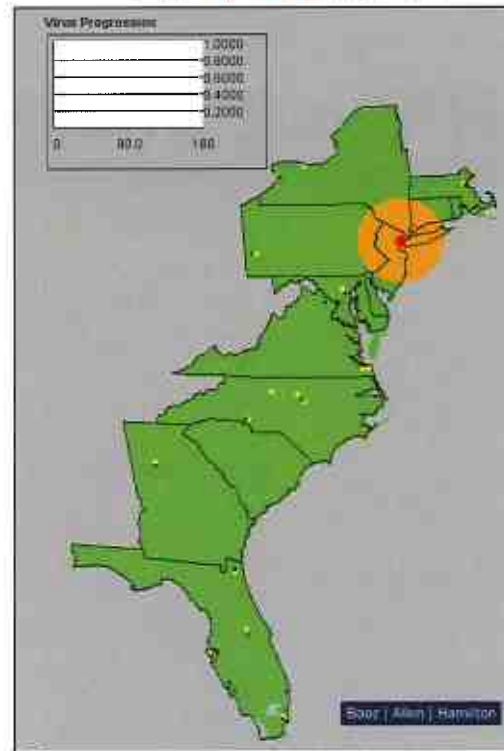
【条件1】 米国東海岸 ニューヨーク市で発生

【条件2】 「対策しない場合」と「対策する場合」の2つのシミュレーションを実施

「対策しない場合」



「対策する場合」



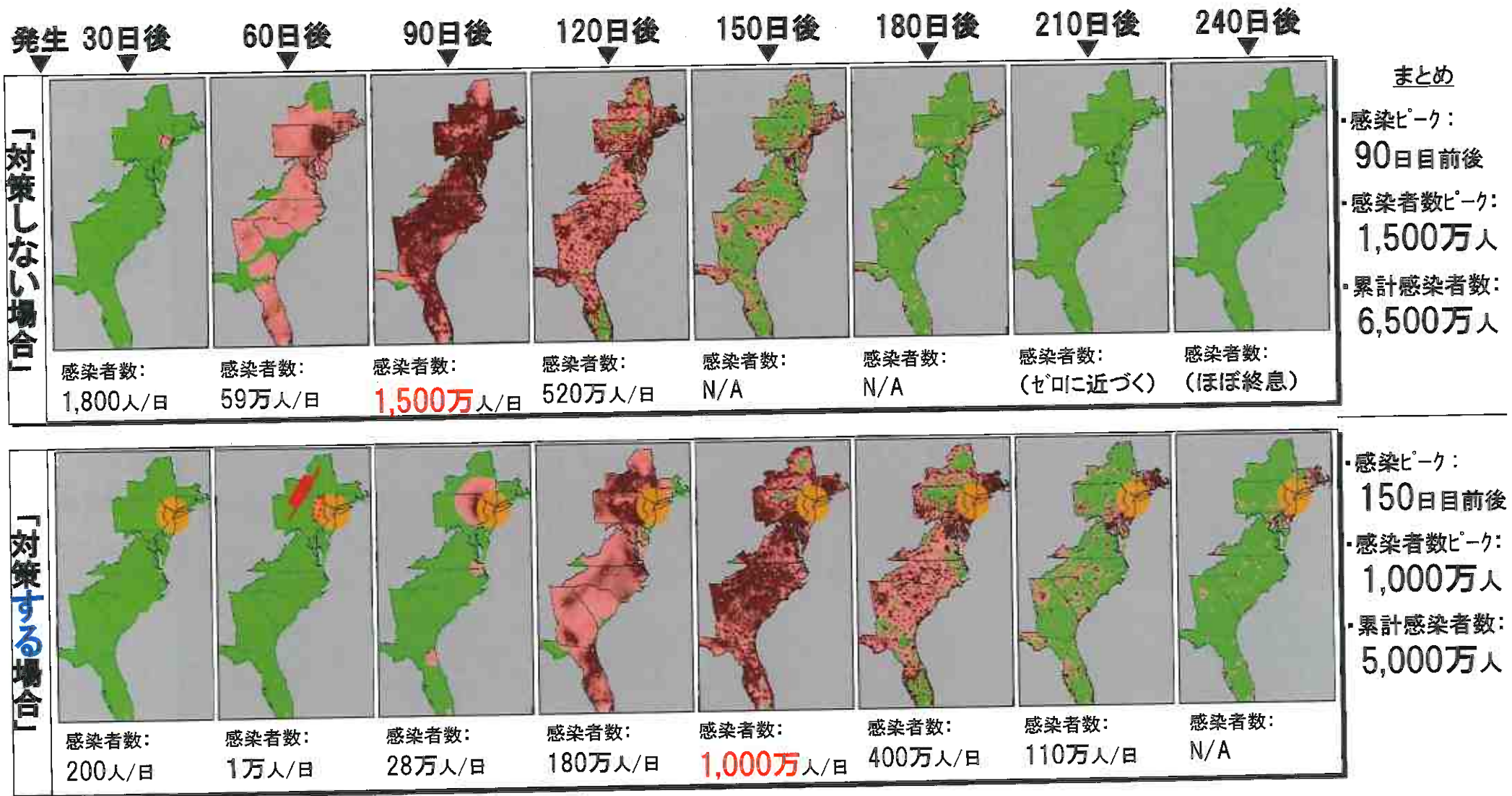
対策内容

- 隔離
- 空港の離発着制限
- ワクチン配布
- 抗インフルエンザ剤の配布
- 戒厳令

● 封じ込め地域

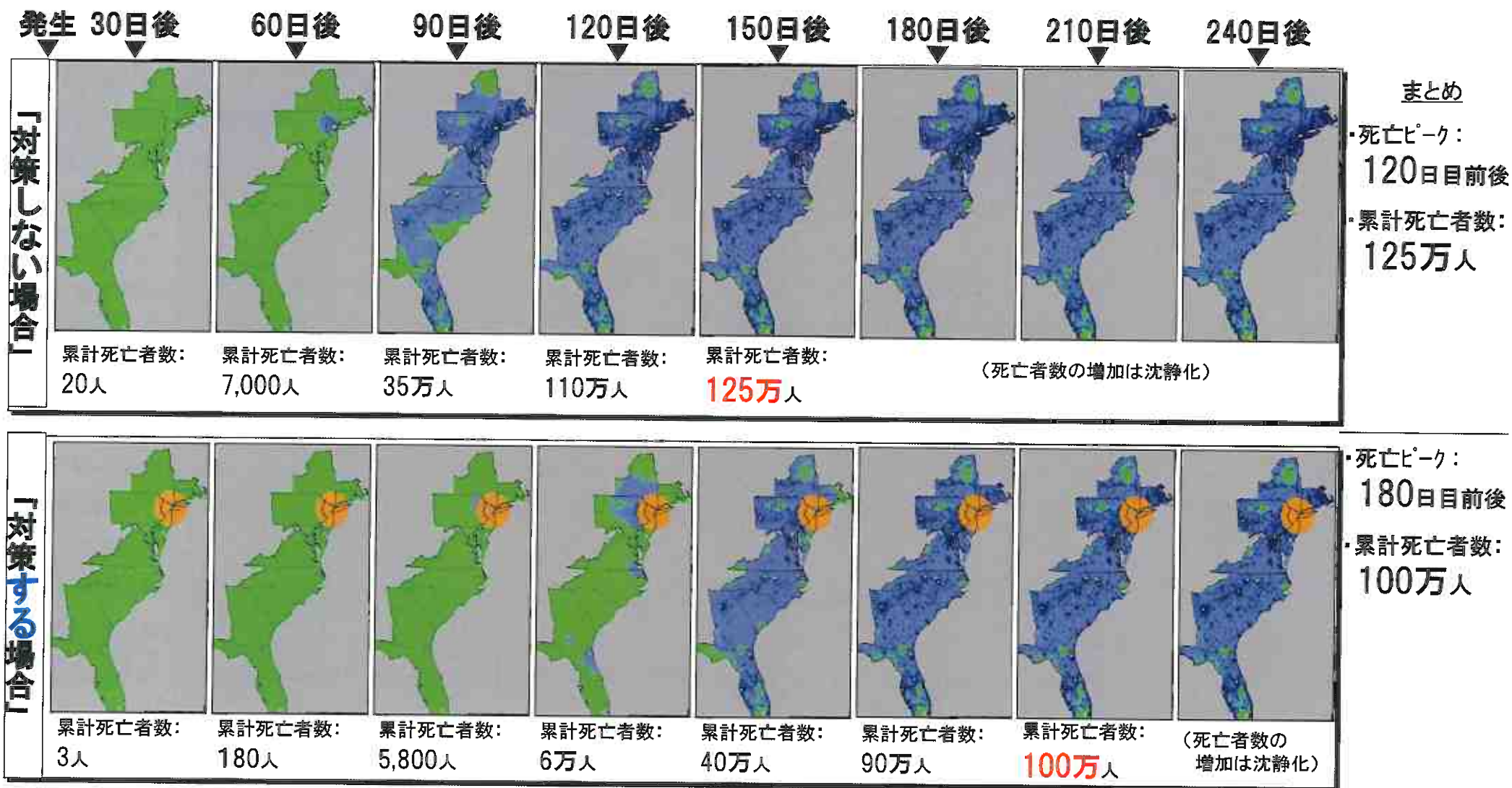
出典：Booz Allen Hamilton「Pandemic Simulator：Simulation Results」

3.2. アメリカ東海岸のH5N1パンデミックシミュレーション (感染状況)



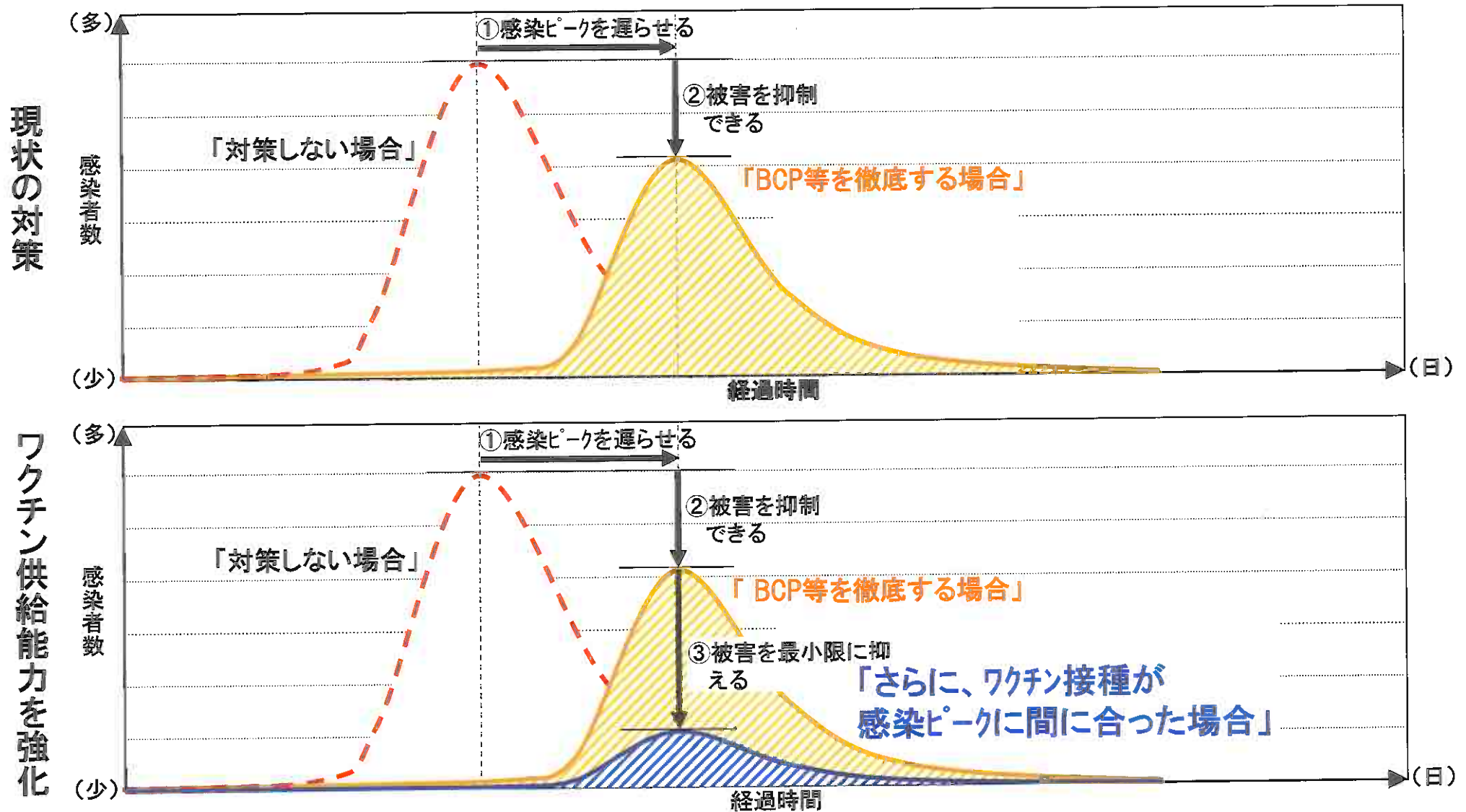
本資料はイソリュージョンズが新型インフルエンザ(H5N1)の脅威に対して危機感を強く感じ、仮説レベルで考察したものである。極秘。

3.3. アメリカ東海岸のH5N1パンデミックシミュレーション (死亡状況)



本資料はイーソリューションズが新型インフルエンザ(H5N1)の脅威に対して危機感を強く感じ、仮説レベルで考察したものである。極秘。

3.4. 感染者数とピークに与える影響



本資料はイーソリューションズが新型インフルエンザ(H5N1)の脅威に対して危機感を強く感じ、仮説レベルで考察したものである。極秘。

